



1. 淡路島の北淡町野島平林の水田に出現した地震断層。畦の変位量は2.0 m (右横ずれ1.6 m, 東側隆起1.2 m)。断層面は80°南東に傾斜。1月19日撮影。

兵庫県南部地震に伴って 出現した地震断層

1995年1月17日午前5時46分、兵庫県南部の淡路島を震源地とするマグニチュード7.2の地震が発生した。この地震は、神戸市・芦屋市・西宮市を中心とする阪神地域と淡路島北部に大きな被害を与え、2月16日現在で死者5,378人、焼失を含む家屋全半壊159,544棟が判明している。

この地震に伴って、淡路島北西部に位置する野島断層のほぼ全域と水越堤曲の一部に沿って、総延長約11 kmの地震断層が出現した。地震断層は、東側隆起の逆断層成分を伴う右横ずれ断層で、変位量は多くの地点で約1～2 mであった。

(地質調査所 栗田泰夫・水野清秀・杉山雄一・下川浩一
・井村隆介・奥村晃史・木村克己)



2. 梨本付近。ここでは局所的に西側(写真右手)隆起を示す。(1月26日、江崎灯台から7.5 km地点)



3. 住家のコンクリート堀や、土塁、畑の畝を1.3～1.5 m 右横ずれさせた地震断層。(1月21日、北淡町小倉/江崎灯台から8.1 km地点)